

(別紙様式)

# 令和3年度学校自己評価システムシート ( 県立大宮北特別支援学校 )

目指す学校像	児童生徒が明るく、豊かに、たくましく成長し、社会にはばたく力を身に付けられる学校
--------	--

重点目標	1 新学習指導要領の趣旨及び国のGIGAスクール構想を踏まえ、ICTを積極的に利活用し、「主体的・対話的で深い学び」の観点を加味した授業を創る。 2 安心安全で、わかりやすく、より豊かな学びが実現できる学習環境を整備する。 3 「社会に開かれた教育課程」の実現を目指し、日々の実践を積極的に学校外に発信する。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	5名
	生徒	6名
	事務局(教職員)	10名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					( 2 月 1 日 現 在 )		
年 度 目 標							
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<p>○校内で「主体的・対話的で深い学び」に関わる検討は進んでいるが、このうち、「深い学び」についてはさらに研究が必要である。</p> <p>○令和2年度末までに、国のGIGAスクール構想に基づき、タブレット端末及び校内のwi-fi環境が整備された。</p> <p>○「年間指導計画」の様式について、見直しが必要との協議が続いている。</p>	ICTの積極的な利活用と「主体的・対話的で深い学び」の観点に基づく授業改善	各教職員が、今年度中に「ICTの利活用」または「主体的・対話的で深い学び」を反映させた実践に取り組む。	80%の教職員の自己評価シートに、「ICTの利活用」または「主体的・対話的で深い学び」についての内容が盛り込まれたか。	《約90%の教職員のシートにいずれかの記述あり》 各学部でタブレット端末が日常的に活用されるようになった。また、全校的に「主体的・対話的で深い学び」の観点が浸透した。	A	「1人1台端末」をいかに効果的に活用していくか、研究と実践の積み重ねが必要である。教職員の「深い学び」についての理解を深め、各授業に反映させていく。
		新学習指導要領の理念や重点を踏まえた「年間指導計画」の在り方を検討する。	教育課程検討委員会が中心となり、新学習指導要領の理念や重点を踏まえた「年間指導計画」の様式を策定する。	令和4年度から活用できる「年間指導計画」の新しい様式が策定できたか。	《「年間指導計画」の新様式を策定した》 教育課程検討委員会において協議・検討を進め、新様式を策定することができた。	A	「年間指導計画」の新様式を適切に活用し、今まで以上に「何ができるようになるか」を明確にした単元づくり・授業づくりを行う必要がある。
2	<p>○今年度、校舎増築工事が行われる。工事期間中、スクールバスの乗降や放課後等ディサービス事業者への対応等をはじめとして、安全確保のため、特段の注意・工夫が必要である。</p> <p>○教室数が限られている中で児童生徒増が続いており、きわめて厳しい学習環境下で、多様な実態の児童生徒に対する指導を進めなければならない。</p>	増築工事のスムーズな進捗と安心安全な教育活動	増築工事におけるスクールバスの乗降や放課後等ディサービス事業者への対応等について全教職員で十分な共通理解を図り、安心安全な教育活動を継続する。	増築工事におけるスクールバスの乗降、放課後等ディサービス事業者への対応等について詳細な計画を策定・実施することで、安心安全な教育活動が継続できたか。	《増築工事の中でも、教育活動を安全に実施できた》 教職員、児童生徒、スクールバス、県担当課、施工業者、それぞれの理解と協力で、増築工事と教育活動を安全に両立することができた。	A	増築工事終了後の施設設備の効果的な活用、スクールバス停車位置、放課後ディサービス車両の停車位置、災害時の避難経路等について、総合的な検討とプランの策定を行う。その全校的な共通理解を図る。
		限られた施設設備の有効活用と児童生徒の実態や障害の特性を踏まえた学習環境の整備	視覚支援の有効性や「構造化」の観点から、校内(教室内)掲示物の精選と整理・教室内の整理・児童生徒の身だしなみの指導等を適切に進める。	校内の80%の教室や廊下等において、掲示物の精選やわかりやすい掲示を進めることができたか。 児童生徒に対する身だしなみの指導が適切に進められたか。	《掲示物の精選等、進行中》 各学部において、精選や整備が進行中である。身だしなみの指導も継続的に取り組んでいる。	B	各教室や廊下等の掲示物精選と整理をさらに進める。
3	<p>○引き続き、新型コロナウイルス感染症への対応が必要であり、従来の個別の「交流及び共同学習」や学校間交流の実施はむずかしい。</p> <p>○同様に、学校外に出ていく活動や学校外の人材活用も限定的なものにとどまっており、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた取組を十分に進めることができていない。</p>	個別の「交流及び共同学習」や学校間交流におけるICTの利活用	個別の「交流及び共同学習」や学校間交流にICTを活用し、オンライン交流やビデオレターによる交流などを行う。	小中学部において、オンライン交流やビデオレターによる交流などを試行することができたか。	《オンライン交流を実施》 9月以降、小中学校とのオンライン交流が複数ケースで実施できている。小中学校側の理解と協力もある。	A	新型コロナウイルスの状況も踏まえ、直接交流とオンライン交流を適切に織り交ぜた「交流及び共同学習」を進める。
		多様なメディアを活用した情報発信	学校HPの活用、学校・学部紹介ビデオの作成、各種公募作品展への応募、雑誌への投稿等、多様な機会をとらえて、日々の学習活動の過程や成果を学校外に発信する。	各学部ともに、日々の学習活動や作品などについて、新たな情報発信ができたか。	《情報発信はまだ限定的》 一部で、美術展への出品等の取組が行われた。	C	各学部において、多様な情報発信のあり方について、さらに検討を進め、できることから積極的に取り組んでいく。

学校関係者評価
実施日 令和4年3月15日
学校関係者からの意見・要望・評価等
<p>教職員の9割のシートにICTの記述があることは、とても良いと思います。今後は「主体的・対話的で深い学び」や「ICTの活用」の結果として、子どもたちがどう変わったかを評価の指標として書くと、さらに素晴らしい指標になると思います。</p> <p>また、その指導においても学びや気づきの知識優先ではなく、楽しく学べるようにお願いします。</p>
<p>増築工事については、バスの乗降場所の変更など、学校の教育活動への影響は最小限に行われ、保護者間でも問題はなく、成功に終わりました。今後も同様の事態に備えて、児童生徒の安全確保を優先した体制作りをしていくべきと考えます。</p> <p>新校舎の増築後にあたり、安全確保との確認と共に、設備の利用やルールの変更などの対応をお願いします。</p>
<p>オンライン交流会にも期待している。その場合、障害が重い児童生徒にも配慮してください。職員も学外での研修や学ぶ機会が減っていると思います。学ぶ機会を保障するとともに、家族へのケアにも目を配ってほしいと思います。</p> <p>保護者アンケートについては、特に「目指す学校像」については、学部間の回答割合の差が気になります。より周知をお願いします。社会に開かれた教育課程においては、地域や家庭のニーズを取り入れてください。</p>

(別紙様式)